

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成22年8月12日 (2010.8.12)

【公開番号】特開2010-128904(P2010-128904A)
 【公開日】平成22年6月10日 (2010.6.10)
 【年通号数】公開・登録公報2010-023
 【出願番号】特願2008-304463(P2008-304463)
 【国際特許分類】

G 0 6 K 9/03 (2006.01)

G 0 6 T 3/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 K 9/03 J

G 0 6 T 3/00 3 0 0

【手続補正書】
 【提出日】平成22年6月30日 (2010.6.30)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ユーザにより記入箇所にマークが記入された紙文書を読み取って得られる画像に対して、
 記入箇所の認識をする画像処理装置であって、

前記記入箇所のうち、記入されたマークを認識する領域位置情報と、マークを認識する
 領域に対してマークすることが可能な数とを予め設定する設定手段と、

前記設定手段により設定された領域位置情報に基づいて、認識対象となる画像上の領域
 に対して記入されたマークの認識を行うマーク認識手段と、

前記マーク認識手段により認識されたマークの数が、前記設定手段により設定されたマ
 ークすることが可能な数を超える場合、当該マークの認識がされた領域が異常であることを
 示す第 1 のオブジェクトを生成する生成手段と、

前記生成手段により生成された第 1 のオブジェクトを、前記マークの認識がされた領域
 に重ね合わせて表示する制御を行う表示手段とを備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記生成手段は、前記マーク認識手段により認識されたマークの数が、前記設定手段に
 より設定されたマークすることが可能な数を超えない場合、当該マークの認識がされた領
 域が正常であることを示す第 2 のオブジェクトを生成し、

前記表示手段は、前記生成手段により生成された第 2 のオブジェクトを、前記マークの
 認識がされた領域に重ね合わせて表示することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装
 置。

【請求項 3】

前記設定手段は、前記記入箇所のうち、複数の記入箇所をグループとして設定すると共
 に、当該グループに対してマークすることが可能な数を設定し、

前記マーク認識手段により認識された前記グループにおけるマークの数が、前記設定手
 段により設定されたグループに対するマークすることが可能な数を超えるかを判定する判
 定手段を備え、

前記生成手段は、前記判定手段による判定結果に従って、前記第 1 のオブジェクトまた
 は前記第 2 のオブジェクトを生成することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の画像処

理装置。

【請求項 4】

前記生成手段は、前記領域の画像を透過するオブジェクトを生成することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

ユーザにより記入箇所にマークが記入された紙文書を読み取って得られる画像に対して、記入箇所の認識をする画像処理装置の画像処理方法であって、

前記記入箇所のうち、記入されたマークを認識する領域位置情報と、マークを認識する領域に対してマークすることが可能な数とを予め設定するための設定工程と、

前記設定工程にて設定された領域位置情報に基づいて、認識対象となる画像上の領域に対して記入されたマークの認識を行うマーク認識工程と、

前記マーク認識工程にて認識されたマークの数が、前記設定工程にて設定されたマークすることが可能な数を超える場合、当該マークの認識がされた領域が異常であることを示すオブジェクトを生成する生成工程と、

前記生成工程にて生成されたオブジェクトを、前記マークの認識がされた領域に重ね合わせて表示する制御を行う表示工程とを備えることを特徴とする画像処理方法。

【請求項 6】

ユーザにより記入箇所にマークが記入された紙文書を読み取って得られる画像に対して、記入箇所の認識をする画像処理装置の画像処理方法を当該画像処理装置に実行させるためのプログラムであって、

前記画像処理装置を

前記記入箇所のうち、記入されたマークを認識する領域位置情報と、マークを認識する領域に対してマークすることが可能な数とを予め設定する設定手段、

前記設定手段により設定された領域位置情報に基づいて、認識対象となる画像上の領域に対して記入されたマークの認識を行うマーク認識手段、

前記マーク認識手段により認識されたマークの数が、前記設定手段により設定されたマークすることが可能な数を超える場合、当該マークの認識がされた領域が異常であることを示すオブジェクトを生成する生成手段、

前記生成手段により生成されたオブジェクトを、前記マークの認識がされた領域に重ね合わせて表示する制御を行う表示手段として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記目的を達成するために、請求項 1 記載の画像処理装置は、ユーザにより記入箇所にマークが記入された紙文書を読み取って得られる画像に対して、記入箇所の認識をする画像処理装置であって、前記記入箇所のうち、記入されたマークを認識する領域位置情報と、マークを認識する領域に対してマークすることが可能な数とを予め設定する設定手段と、前記設定手段により設定された領域位置情報に基づいて、認識対象となる画像上の領域に対して記入されたマークの認識を行うマーク認識手段と、前記マーク認識手段により認識されたマークの数が、前記設定手段により設定されたマークすることが可能な数を超える場合、当該マークの認識がされた領域が異常であることを示す第 1 のオブジェクトを生成する生成手段と、前記生成手段により生成された第 1 のオブジェクトを、前記マークの認識がされた領域に重ね合わせて表示する制御を行う表示手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記目的を達成するために、請求項5記載の画像処理方法は、ユーザにより記入箇所にマークが記入された紙文書を読み取って得られる画像に対して、記入箇所の認識をする画像処理装置の画像処理方法であって、前記記入箇所のうち、記入されたマークを認識する領域位置情報と、マークを認識する領域に対してマークすることが可能な数とを予め設定するための設定工程と、前記設定工程にて設定された領域位置情報に基づいて、認識対象となる画像上の領域に対して記入されたマークの認識を行うマーク認識工程と、前記マーク認識工程にて認識されたマークの数が、前記設定工程にて設定されたマークすることが可能な数を超える場合、当該マークの認識がされた領域が異常であることを示すオブジェクトを生成する生成工程と、前記生成工程にて生成されたオブジェクトを、前記マークの認識がされた領域に重ね合わせて表示する制御を行う表示工程とを備えることを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記目的を達成するために、請求項6記載のプログラムは、ユーザにより記入箇所にマークが記入された紙文書を読み取って得られる画像に対して、記入箇所の認識をする画像処理装置の画像処理方法を当該画像処理装置に実行させるためのプログラムであって、前記画像処理装置を前記記入箇所のうち、記入されたマークを認識する領域位置情報と、マークを認識する領域に対してマークすることが可能な数とを予め設定する設定手段、前記設定手段により設定された領域位置情報に基づいて、認識対象となる画像上の領域に対して記入されたマークの認識を行うマーク認識手段、前記マーク認識手段により認識されたマークの数が、前記設定手段により設定されたマークすることが可能な数を超える場合、当該マークの認識がされた領域が異常であることを示すオブジェクトを生成する生成手段、前記生成手段により生成されたオブジェクトを、前記マークの認識がされた領域に重ね合わせて表示する制御を行う表示手段として機能させることを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図18

【補正方法】変更

【補正の内容】

(a)

1510

12345

市町村
コード

12345

受診番号

1503

1504

(氏名欄の記入注意)
※カタカナで濁点も文字も

(b)

1406

1209

問2. あなたは、朝食を食べていますか？

☒ 毎日食べている ☐ 時々食べている ☐ ほとんど食べていない

問3. あなたは、間食を食べていますか？

☒ ほとんど毎日食べている ☐ 時々食べている ☒ ほとんど食べていない

1407 1214

(c)

1703

問14. 健康について、あなたが比較的重視していることは何ですか。(複数回答可、最大3つまで)

☒ 食事 ☒ 運動 ☐ 早寝早起き ☐ 歯磨き ☐ 禁酒 ☒ 早期通社

1513 1514 1515